子どもフォーラム（１２月８日）
「私たちの想い、届きますように」

　このフォーラムは、2年前に制定された「子ども基本法」の理念である「子どもが意見を表明する機会を確保すること」「子どもの意見を尊重し、社会に反映していくこと」を大切にして行いました。

　子どもたちは、1学期から総合的な学習の時間を中心に学んできたことをもとに、自分たちの考えや願いを発表しました。

　体育館での参加に加え、オンラインでも保護者や吉松小学校の6年生が参加してくれました。

　発表内容は多彩で、以下の内容が発表、提案されました。

- 植木町オリジナルキャラクター「スイモン」のアイデア
- 環境美化からまちづくりを考える「UC（Ueki Clean）プロジェクト」
- ナイストライの体験から学んだこと
- 植木町の「空き家問題」
- 自助・共助の視点からの「防災」

　子どもたちの生活や地域をよりよくするための提案がたくさんありました。また、学校代表のコメンテーターとして各学年の代表生徒が、発表に対して感想を述べたり、司会者からの質問に答えたりしました。シナリオなしで話すのは難しかったと思いますが、3人とも自分の体験も交えながら、既存の知識をフルに活用して一生懸命答えてくれました。

　今回ご協力いただいたコメンテーター、ファシリテーターの皆様からも「代表生徒による提案内容、コメンテーターの子どもたちの頑張りは素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。「人は体験しないとわからないことがある。今後いろんなことにチャレンジしてほしい。」という激励や、行政の立場から熊本市や北区の現状についてのお話もありました。

　今回のフォーラムは、子どもたちの活動を多面的に評価していただく貴重な機会となり、発表した子どもたちにとっても次の学びへの大きな意欲につながったと思います。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。